





市町村民の方の支援に当たっている。千葉県にも派遣をしたいと考えている。

(7) 避難所入居者情報センターについて

企業局長：

避難所入居者の情報を提供するセンターを設置する。センターには電話による問い合わせに対応する。朝8時から夜22時までで、電話は2本引いている。

(8) 燃料関係について

商工労働部長：

避難所用の灯油は中通りの避難所に市町村を通して灯油が行き渡る手配をした。今後会津方面に広げていけるように手配をしたい。ガソリンは、浜通から避難している方が中通り近辺にいますので、そういった方を中心にガソリンの手当ができるように対応をしていく。

(9) 物資について

農林水産部長：

神奈川県から海上自衛隊の護衛艦が水、食糧、毛布等をいわき市に供給した。

(10) 相馬港について

土木部長：

相馬港の一部が2号埠頭のうち第4号岸壁で、7万トンクラスの船が使えるようになった。

(11) モニタリング結果について

生活環境部次長：

県北福島市のモニタリングの数値が1.0を割り込む数字になった。

(12) 川俣町の酪農家について

農林水産部長：

川俣町の酪農家は現在13戸である。今後毎日原乳を検査する。

松本副知事：

結果が出るまでどれくらいかかるのか。

農林水産部長：

サンプル採取後1両日くらい。

(13) 「福島県放射線健康リスク管理アドバイザーの就任について

企画調整部長：

放射線に関しては県民からもいろいろ問合せがある。県でも相談窓口を開設しているが、専門的な立場からアドバイスできる方を委嘱した。長崎大学から、山下 俊一先生、また、高村 昇先生のお二人。県民の皆さまの不安に対する確に回答していくためのアドバイスをいただきたい。早速明日は平体育館において説明会を開催する。中通りの地域でも順次福島市、郡山市で説明会を開催する。



知 事:

今回の災害で県民は非常に不安を感じている。お二人には、専門的なアドバイスをいただき、県民の不安に対して正確な情報伝達を行い、正確に、適時に、しっかりと伝えていただきたい。

○閉 会

